

地域×大学×企業の ひょうご絆プロジェクト

地域課題の解決、持続可能な生活圏形成、地域資源の活用促進などの地域づくり活動を支援します



地域×大学×企業のひょうご絆プロジェクト

1. 事業目的

持続可能な生活圏の形成を目指し、地域団体が大学や企業と連携して取り組む地域づくり活動を支援

2. 対象事業

市町の持続可能な生活圏形成の方向性を踏まえ、地域が大学、企業等と連携して行う地域づくり活動に要する経費

3. 実施主体

地域団体	地域運営組織、複数または集落単位で組織する住民団体
大学等	大学・大学院、高等専門学校の実験室、クラブ・サークル(高等学校は除く)
企業等	会社法に規定される事業者、NPO法人、一般社団法人、農業協同組合、地域商社等 (活動地域内外を問わない)

4. 補助金額

地域団体、大学を含めた二者連携: 25万円上限

地域団体、大学、企業を含めた三者連携: 37.5万円上限



ひょうご絆プロジェクト
補助金

地域づくり活動

- ・ 地域課題の解決
- ・ 持続可能な生活圏形成
- ・ 地域資源の活用促進 など

活用事業のご紹介

東播磨地域

加古川市

地域の水辺空間を学習空間とする取り組みを通じた地域の活性化

人口減少や高齢化が進む加古川市神野地区において、ビオトープ水路や農業用ため池などの地域資源である水辺空間や、コウノトリの巣塔などを活用した環境学習により子どもたちの学びや自然体験活動の場を創出することで、地域活性化と次世代の担い手育成を目指す事業です。水辺環境の保全活動と地域交流を結び付けることで、子どもたちの地域への愛着を育むとともに、地域ぐるみで環境を守る意識の向上を図ります。水辺環境を活用した環境学習プログラムを実施し、地域内外の子どもたちの交流促進と継続的な学習機会の提供を目指します。



地 域	大 学	企 業
神野町町内会連合会 石守町内会・西之山町内会 神野小学校PTA	兵庫大学 ため池研究所	株式会社 常然

ため池のかいぼり行事を通じた関係人口創出プロジェクト

農業者の減少や高齢化により維持管理の担い手不足が進む「ため池」を対象に、ため池の維持管理作業である「かいぼり」を実施し、地域活性化と関係人口の創出を目指す事業です。「かいぼり」を、環境学習や地域交流の機会として活用し、学生や地域の若年層がため池の役割や魅力を学びながら保全活動に参加します。また、地域住民への聞き取りを通じて、ため池管理の歴史や技術を継承し、「現代版かいぼりマニュアル」の作成も考えています。さらに、パネルやチラシによる情報発信を行い、ため池保全への理解と参加を広げます。30名規模のかいぼり行事を実施し、参加者アンケートを通じて継続的な取組につなげることを目指しています。

<https://tameikemirai.com/>



地 域	大 学	企 業
薬栗農地水保全管理協議会	兵庫県立大学環境人間学部 IC・ヒューマン地域連携センター	一般社団法人 ため池みらい研究所

稲美町

都市住民が米づくりに関わるお米クラブの構築による関係人口創出

農業者の高齢化や耕作放棄地の増加が進む中、都市住民が米づくりに参加する仕組みをつくることで、地域農業の担い手確保と関係人口の創出を目指す事業です。兵庫県立大学と神戸大学の学生が中心となり、地域の農地で田植えから収穫までの米づくりを実践し、施肥設計などの専門的な知識も学びながら農業への理解を深めます。また、収穫した米をコンテストへ出品することで、栽培成果の評価や活動の見える化を図ります。これらの活動を通じて、都市住民が継続的に農業や地域に関わる「お米クラブ」の仕組みを構築し、将来的には就農や農業支援につながる関係人口の育成を目指します。お米クラブの継続運営と、チラシ作成やイベントでの活動発信を通じて参加者を拡大し、活動規模拡大と都市住民と地域との関係強化を図ります。



地 域	大 学	企 業
草谷川ため池協議会	兵庫県立大学環境人間学部 IC・ヒューマン地域連携センター	合同会社 gyoninben

三田市

うど小屋伝承プロジェクト

～高平の里山と三田の伝統を未来へつなげる～

担い手不足や高齢化、温暖化により継承が難しくなっている三田市の伝統的な「うど小屋」によるうど栽培を守るための取組を通じて、地域活性化や関係人口の創出につなげる事業です。

うど小屋づくりに必要な稲わらの確保や竹林整備、伝統農家への視察を実施するとともに、地域住民と学生が協働して「うど小屋づくりワークショップ」や「うどの伏込み・収穫体験」を開催します。また、大学生は地域住民への聞き取り調査を通じて、うど小屋の技術や歴史を記録・デジタルアーカイブ化し、SNSや動画を活用して情報発信を行います。さらに、収穫したうどを活用したレシピ開発などにも取り組み、地域資源としての価値向上を図ります。



地 域	大 学	企 業
高平郷づくり協議会	ラララ高平 (関西学院大学)	NPO法人 里野山家

西脇市

「ほっとする芳田」活性化プロジェクト

人口減少や少子高齢化により担い手不足が進む芳田地区において、「ほうた自然学校」を中心に里山体験や子ども向けイベントを実施し、芳田地区の賑わい創出と関係人口の拡大を目指す事業です。主な取組は、交流イベント・木工や竹細工、郷土食づくりなどの体験会・企業イベント等を活用したPR・大学による企画提案や情報発信支援です。都市部でのPR活動も強化し、自主財源の確保と地域主体による持続可能な運営体制の構築を進めます。



<https://houta.net/>



地 域	大 学	企 業
芳田自治協議会	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 関西学院大学人間福祉学部	株式会社神戸マツダ西脇店 株式会社 夢KOBE PROJECT キタイ設計株式会社

加西市

「九会ハーブ園」構想

加西市九会地区において、休耕田を活用したハーブ園の整備を通じて、交流人口・関係人口の拡大と地域活性化を目指す事業です。休耕田を活用し、地域住民や九会小学校児童、大学生らが協力してハーブの植栽・管理・加工体験を実施しています。ハーブを身近に感じてもらう取組を進めており、ハーブの植え付けやサシェ（香り袋）、ハーブティー、ハーブゼリー、ハーブ入りクッキーづくりなどの体験事業を実施します。また、専門家の指導のもと、収穫したハーブを活用したサシェの商品化にも取り組み、地域資源を活かした新たな特産品づくりを進めます。「ハーブのまち九会」の魅力発信を行い、地域外からの来訪者や関係人口の増加を図るとともに、地域の賑わいや持続的な活性化につなげることを目標としています。



地 域	大 学	企 業
九会地区ふるさと創造会議	帝京大学経済学部増田ゼミ	神姫バス株式会社 共同企業体

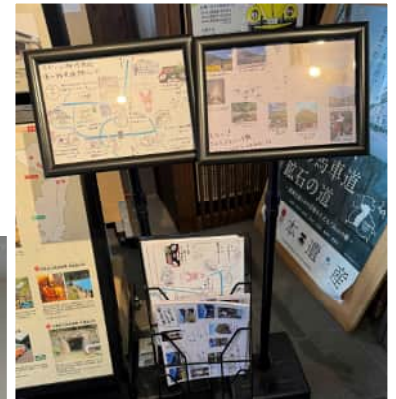
神河町

<https://www.radohre.com/video.html>

デジアナ融合の活用による、 駅前商店街を含む寺前地区の活性化及び関係人口の創出

神河町寺前地区の駅前商店街の魅力を再発掘し、デジタルとアナログの手法を組み合わせることで、来訪者の増加と地域活性化を目指す事業です。具体的には、大学生の視点で寺前地区や商店街の魅力を紹介するPR動画やSNS発信を行うとともに、観光スポットや飲食店などを掲載した手書き地図を作成・配布し、観光客の誘客を図ります。また、古民家宿泊施設「RADOHRE神河」や新施設

「RADOHRE+α」を活用し、宿泊を通じた関係人口の創出にも取り組みます。ペット連れ観光客向けマップ・動画の制作や、バイクユーザー向けツーリングマップの作成とイベント開催を実施します。



地 域	大 学	企 業
寺前地区活性化協議会	関西国際大学 神戸国際大学 鍋嶋ゼミ 神戸国際大学 上田ゼミ 神戸国際大学 山本ゼミ	POD株式会社 和田興産株式会社

上郡町

西播磨地域

大学と地元学生が取り組む地域の課題解決と魅力発信事業

上郡町赤松地区において、地域団体が抱える担い手不足や情報発信力不足といった課題の解決を目指す事業です。大学生や高校生による地域住民へのヒアリングや、現地調査を通じて課題や地域資源を把握し、若者ならではの視点で地域の新たな魅力を発掘します。その成果を基に、地域資源を活用した募集型旅行の企画や情報発信を行い、交流人口・関係人口の創出につなげます。地域課題と地域資源の整理や分析を行うとともに、効果的な情報発信方法や誘客施策を検討し、今後の持続可能な地域づくりや将来の担い手育成につなげることを目指しています。



地 域	大 学	企 業
赤松地区むらづくり推進委員会 赤松手づくり鎧・かぶとの会	神戸学院大学 兵庫県立上郡高等学校	一般社団法人かみごおり観光協会 みなと銀行地域戦略部観光推進室 神戸新聞旅行社 本社営業所

相生市

相生市矢野地区小河のゆず製品の付加価値向上に向けた、情緒を用いたマーケティング手法の開発プロジェクト

相生市矢野地区小河の特産品であるゆず製品について、若年層を中心とした新たな顧客層の獲得と関係人口の創出を目指す事業です。地域のゆず製品やその製造背景、地域資源の魅力を学生の視点で再発見するとともに、試食調査やモニター調査を通じて、消費者が商品に対して抱く感情や体験を分析します。その結果をもとに、「ほっとしたい時」「誰かに贈りたい時」といった情緒に訴えるエモーショナルマーケティングの手法を開発し、商品POPやSNS、イベントなどでの情報発信に活用します。地域資源の価値向上と販売促進を図ることで、都市部の若年層との新たな関係づくりと地域活性化につなげることを目指しています。



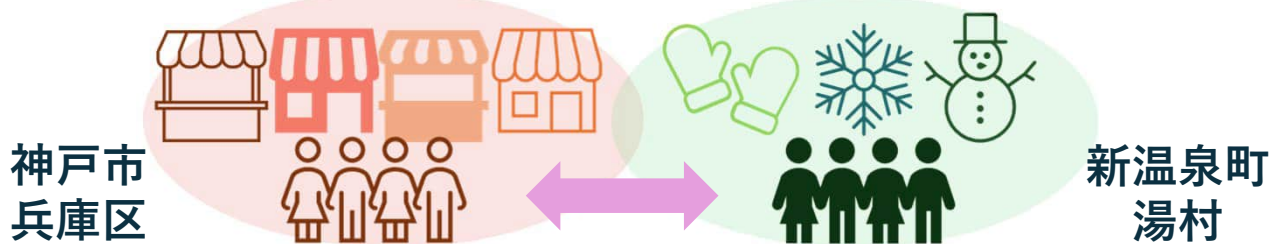
地 域	大 学	企 業
小河ゆず栽培組合	チーム小河 (兵庫県立大学課外活動団体)	株式会社REGION PROTOCOL

但馬地域

新温泉町

新温泉町の子ども達の友達づくり及び地域情報交換事業

新温泉町（湯村・細田子ども会）と神戸市兵庫区（荒田子ども会）の子どもたちが互いの地域を訪問し合い、子どもたちが案内役となり、交流を通じて地域への愛着や誇りを育むとともに、将来的な交流人口・関係人口の創出を目指す事業です。神戸の子どもたちは新温泉町の湯村を訪れ、但馬牛に関する学習や雪遊び、温泉の湯がき体験などを通じて新温泉町の自然や文化の魅力を学びます。一方で、新温泉町の子どもたちは神戸市荒田地区を訪れ、荒田地区の商店街や、地域の歴史や暮らしについて学ぶフィールドワークを行うことで、異なる地域の文化や生活への理解を深めます。また、神戸親和大学が子ども同士の交流を支援するとともに、保護者同士は人口減少社会における子どもの育成や地域活性化について意見交換を行います。交流後もオンラインミーティング等を通じてつながりを継続し、子どもたちの友達づくりや地域間交流を発展させながら、両地域の将来を担う人材育成と持続的な地域活性化につなげることを目指しています。



地 域	大 学	企 業
湯村の街なみを検討する会 湯・細田子ども会 荒田子ども会	神戸親和大学教育学部 教育学科ボランティアグループ	東山商店街振興組合 丸神商業協同組合

養父市

明延区×明石高専 明延まちなみ再現プロジェクト

人口減少や高齢化が進む養父市明延区において、明延鉱山の歴史や鉱山町の魅力を活かした地域活性化を図る事業です。「あけのべ円電車まつり」に合わせて、かつて商店があった場所に漫画パネルを設置し、鉱山で栄えた時代の町並みを再現することで、来訪者に地域の歴史や文化を体感してもらいます。また、空き家を活用したカフェを学生が企画・運営し、来訪者の休憩や交流の場を提供するとともに、昔の町並みに関する聞き取り調査も行います。地域と明石高専の学生が協働することで、交流人口の拡大や関係人口の創出を図り、地域の賑わいづくりと持続的な地域活性化につなげることを目指しています。

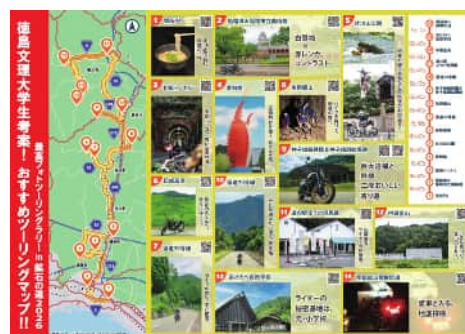


地 域	大 学	企 業
明延区	明石工業高等専門学校 建築学科工藤教室	—

ツーリング誘客を通じた「日本遺産 鉱石の道」 地域課題解決プロジェクト

養父市明延地区において、日本遺産「鉱石の道」の魅力を活用しオートバイ愛好者を中心としたツーリング客の誘客によって地域活性化を図る事業です。人口減少や高齢化により地域の商店やサービスの維持が課題となる中、「最高フォトツーリングラリー in 鉱石の道」を核として、飲食・宿泊・土産購入などの消費を促し地域経済を支えることを目指します。

また、HPやPR動画の制作・発信により「鉱石の道」の認知度向上を図るとともに、ツーリング客向けの情報をわかりやすく発信し、滞在時間や周遊性の向上につなげます。動画コンテンツや新たなツーリングルートの整備を進めるほか、フォトラリー参加者へのアンケート分析やSNS活用を通じて継続的な情報発信を行い、リピーターや関係人口、ふるさと住民の創出を目指します。



<https://www.bunri-u.ac.jp/faculty/human-life/info/2026082300010/>
<https://www.bunri-u.ac.jp/faculty/human-life/info/2026050700033/>

地 域	大 学	企 業
「鉱石の道」明延実行委員会	徳島文理大学 人間生活学部 メディアデザイン学科山城ゼミ	株式会社マインズ

朝来市

農業の見えにくい手間ひまを可視化する食体験事業

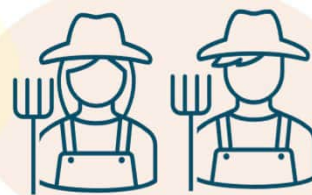
農産物ができるまでにかかる時間や技術、作業工程などの「見えにくい手間ひま」を「FARM VALUE」として可視化し、食体験を通じて農業への理解と価値向上を図る事業です。農業の手間ひまを数値やストーリーで紹介するホームページを整備するとともに、「手間ひまを食べるレストラン」を開催し、生産過程を反映した料理や解説を通じて、参加者が農業の価値を体感できる機会を創出します。また、情報発信や体験設計を進め、ホームページによる継続的な情報発信を通じて、参加者が地域や農業に関心を持ち続け、再訪や地域活動への参加につながる関係人口の創出を目指します。参加者の行動変容を分析し、今後の事業展開に向けた基礎データを蓄積します。



手間ひまを食べるレストラン



FARM VALUE



地 域	大 学	企 業
糸井地域自治協議会 竹田きづかい協議会	武庫川女子大学生活環境学部 生活環境学科鎌田ゼミ	NPO法人フライパン

丹波市

丹波地域

学生 × 地域古民家を活用した実践型まちづくり事業

丹波市氷上町中央地区において、空き家・古民家の改修や活用を通じて、商店街を含む地域の賑わいづくりと関係人口の創出を目指す事業です。人口減少や高齢化に伴う担い手不足や空き家増加といった課題に対し、空き店舗の活用、小商いの創出、マルシェの開催などを進めます。また、地域の祭りやイベントへの学生参加を通じて住民との交流を深め、地域への理解や愛着を醸成します。空き店舗を地域の交流拠点やチャレンジショップとして活用するための改修ワークショップを実施するほか、空き家・空き店舗を活用したイベントの開催や、既存拠点「CHATTAベース」を含む新たな空き家活用の提案を行います。これらの取組を通じて、地域内外の多様な人が継続的に関わる仕組みを構築し、商店街の活性化と将来の地域の担い手確保につなげることを目指しています。



地 域	大 学	企 業
中央地区自治振興会	ATACOM (関西大学)	特定非営利活動法人 佐治倶楽部

丹波市

大路の食・農・地域の魅力発見・活性化プロジェクト

丹波市春日町大路地区において、地域の食や農業の魅力を活かした地域活性化に取り組む事業です。地域の特産加工品である「おおじみそ」を核として、学生と地域住民の交流や、新商品開発、販路拡大、生産・加工支援などを実施します。また、大納言小豆やブルーベリー、景観資源などの地域資源の調査・発掘や、移住者受入れ、地域組織の運営、新規就農者支援など、持続可能な地域づくりに向けた調査・分析も行います。「おおじみそ」の維持・継承に向けた具体的な事業や運営体制の検討を進めるとともに、地域農産物の販売促進を通じて、地域内外の協力者ネットワークの構築と継続的な活動体制の確立を目指します。



地 域	大 学	企 業
大路地区自治協議会	神戸大学 小川研究室	一般社団法人みつおおじ 農村活性化サークルひばり 一般社団法人神戸大学フードコミュニティ

参画と共同による丹波ブランドを活かした地域創生

丹波地域の特産品である丹波大納言小豆を活用し、地域活性化と関係人口の創出を目指す事業です。東京大学の学生を地域に受け入れ、地域住民や営農組合とともに丹波大納言小豆の播種から収穫までの農作業に取り組むほか、地域団体や企業との交流会を開催します。交流会では、学生の若い視点を活かした新商品開発やSNSを活用した情報発信について検討するとともに、丹波の歴史や文化、大納言小豆について学ぶ勉強会を実施します。また、収穫した小豆の一部を湯島天満宮へ奉納する等、地域文化に触れつつ、東京大学で共同開発した商品や地域の魅力を発信します。学生は地域内の寺院に宿泊しながら地域住民との交流を深め、地域への理解を深めます。地域資源の活用や世代間交流を通じて、地域住民の地域活性化への意識向上と継続的な協力体制の構築を目指します。



地 域	大 学	企 業
野上野まちづくり協議会 野上野自治会	東大生地方創生コンソーシアム	株式会社やながわ 丹波ふるさと振興株式会社

丹波篠山市

みんなで支える！公共交通のモビリティマネジメント

丹波篠山市大芋地区と福住地区において、公共交通の利用促進と持続可能な運営体制の構築を目指す事業です。人口減少や高齢化により、公共交通の利用者減少や運転手不足が課題となる中、大芋地区の住民有償運送「大芋にここに号」と福住地区のデマンドバス「のり～な」を対象に、利用経験のない住民に向けた乗車体験会やお買い物ツアー等を実施し、公共交通を利用するきっかけづくりを行います。大芋地区では、昨年度の乗車体験会にて利用者減少に改善傾向が見られたため、引き続き利用促進に取り組めます。

また、啓発活動により新たな運転手が確保されたことから、利用者拡大に重点を置きます。福住地区では、運行開始間もない「のり～な」の利用促進を図るため、乗り合い利用の促進や新たな利用場面の提案を進めます。大学が企画・運営を担い、地域団体が住民への周知や運行調整を行うことで、事業終了後も地域主体で公共交通の利用促進が継続される仕組みづくりを目指しています。



地 域	大 学	企 業
大芋活性化委員会 福住まちづくり協議会	大谷大学モビリティデザインプロジェクト	—

「東部六地区の食文化と暮らしを、学生と共に未来へつなぐプロジェクト」

旧Aコープ・ハートピア跡地の再生を核として、地域の食文化や暮らしの知恵を記録・継承し、関係人口の創出と地域活性化を目指す事業です。兵庫県立大学の学生グループ「GoEAST!」が中心となり、高齢者への聞き取り調査を通じて伝統的な食文化や暮らしの知恵を発掘し、それらを活かした新商品の開発や販売、記事・動画による情報発信を行います。また、旧ハートピアを活用したマルシェの開催や、子どもから高齢者までが集える交流スペース「ふらっとらぼ」の運営にも取り組みます。これらの活動は、令和8年度中の開業を目指す地域複合拠点の物販、イベント、情報発信、交流機能と一体的に進められ、学生の活動成果がそのまま地域拠点の機能充実につながる仕組みとなっています。地域の高齢者への聞き取り調査や伝統食を活用した商品開発、SNS等による継続的な情報発信、小規模イベントの開催を実施し、学生と地域が継続的に関わる体制づくりと地域の賑わい創出を目指します。



地 域	大 学	企 業
東部六地区協議会	兵庫県立大学 環境人間学部 IJ・ヒューマン地域連携センター(Go!EAST!)	株式会社東風吹かば

里山資源のカスケード利用促進による新価値創出

丹波篠山市で課題となっている放置竹林を地域資源として活用し、新たな特産品開発や里山保全を進める事業です。人口減少や高齢化に伴う担い手不足により、放置竹林の拡大が進んでいる竹を、食品、紙、アルコール飲料、建材などへ段階的に活用する「カスケード利用」により、資源の付加価値を高めるとともに、竹林整備に伴うコスト削減と持続可能な資源循環の実現を目指します。具体的には、幼竹を活用した干しタケノコの製造、竹パルプを原料とした手すき紙やアルコール飲料の開発、竹チップを活用した環境配慮型建材「バイオクリート」の研究などに取り組みます。また、地域住民や関係人口を対象に、竹の伐採体験や流しそうめん、竹飯盒を使ったBBQ、竹細工などの竹林アクティビティを実施し、放置竹林問題への理解促進と竹林整備の担い手育成を図ります。竹酒の醸造試験を進めるとともに、竹資源の多段階活用による新たな地域産業モデルの構築を目指します。



地 域	大 学	企 業
西紀南自治会長会 黒田たけのこの里	大阪公立大学大学院農学研究科 新潟食糧農業大学	株式会社大同印刷所

洲本市

淡路地域

大学・関係人口との協働による 地域資源の発掘と持続可能な活用体制づくり

竹原地区の地域資源を発掘・活用し、交流人口・関係人口の創出と持続可能な地域づくりを目指す事業です。竹原地区では、あじさい園「あわじ花山水」や大学実習の受入れにより交流人口が生まれていますが、地区人口が5世帯13人と少なく、継続的な活動には外部人材との協力が不可欠となっています。そのため、地域資源の再評価を進め、地域主体で体験イベントを継続できる体制づくりに取り組みます。花や樹木など新たな自然資源の発掘・活用を進めるほか、「モミの木山ピクニック」などの体験イベントを開催します。また、植物や昆虫、風景、地域の暮らしを写真や動画で記録し、デジタルアーカイブ化や情報発信を行うことで、地域の魅力を広く発信し、関係人口のさらなる拡大を目指します。



地 域	大 学	企 業
竹原町内会	兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 保全管理領域 澤田研究室	—

洲本市

みちくさで世界の美しさを知る

―地域を丁寧に見ることから生まれるグラフィックと地域PRの新モデル―

洲本市中川原町二ツ石地区を舞台に、地域の日常風景や植物、暮らしの知恵など身近な資源を学生の視点で再発見し、デザインや印刷技術を活用して地域の魅力として発信する事業です。神戸芸術工科大学の学生が、空き家を活用した交流拠点「HOOK」を拠点にフィールドワークを行い、地域に自生する植物や風景、住民の記憶や暮らしを記録・観察します。そこで見つけた地域の魅力を、ポスターや展示物、配布物、商品パッケージなどのグラフィックとして制作し、地域内外へ発信します。印刷会社のサンクラールが専門的な技術支援を行い、制作物を実際に手に取れるPRツールとして形にするとともに、展示会や交流イベントを開催して地域住民と来訪者の交流を促進します。地域資源を題材としたPRグラフィックを制作し、市内外での展示や情報発信を行うほか、展示・交流イベントを複数回開催することで、地域の魅力を可視化し、地域ブランディングや関係人口の創出につなげることを目指しています。



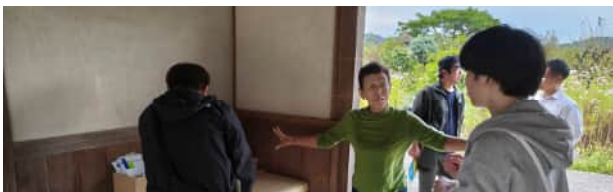
Instagram「hook_awajishima」

https://www.instagram.com/p/DbkvgphD4J6/?hl=ja&img_index=1

地 域	大 学	企 業
中川原町二ツ石町内会 HOOK	神戸芸術工科大学	有限会社サンクラール

学生と地域でつくる、 多自然地域を支える域学連携発信プロジェクト

洲本市で長年続いてきた域学連携や地域活動の経験、地域住民の知識や思いを記録・発信し、次世代の担い手育成や関係人口の創出につなげる事業です。大野地区では、菜の花やひまわりの栽培を通じて景観形成や耕作放棄地対策に取り組んできましたが、近年は高齢化や担い手不足、活動の継承、情報発信力の不足が課題となっています。そこで、地域住民や地域活動者などへのインタビューや現場取材を実施し、学生が中心となってSNS向け動画や記事を制作し、地域活動の歴史や魅力、住民の思いをWebメディアとして発信するとともに、成果報告会や展示を通じて住民と学生の交流を深め、成果は地域の資産として継承します。



地 域	大 学	企 業
大野菜の花ひまわり部会	神戸学院大学 グローバル・コミュニケーション学部 森下ゼミ	特定非営利活動法人 洲本域学連携研究所

南あわじ市

伊加利地域資源を活かした 持続可能な地域ビジネス創出プロジェクト

人口減少や高齢化、イノシシ被害などの課題を抱える南あわじ市伊加利地区において、地域資源を活用した収益事業を構築し、持続可能な地域づくりを目指す事業です。地域資源であるイノシシ肉を活用した犬用ジビエドッグフード缶の開発を進めるほか、耕作放棄地を活用した貸農園の整備や収穫体験イベント、加工体験イベントを実施します。農業や食品加工の専門知識を活かしながら商品開発やイベント運営を行い、地域住民と外部人材の交流を促進します。また、収穫した農産物を活用した調理体験や交流会を通じて関係人口の拡大を図るとともに、学生による農作業支援や地域活動への参加を通じて新たな地域の担い手づくりにも取り組みます。貸農園事業の自立運営に向けた体制整備を進めるほか、ジビエドッグフードの栄養分析や嗜好試験、試食イベントを実施し、商品化に向けた検証を行います。



地 域	大 学	企 業
伊加利源泉マルシェ実行委員会	学校法人順正学園 吉備国際大学	合同会社飛行犬撮影所 淡路島CannedFoods株式会社

「湊地区活性化構想」をもとに 湊地区の未来像を地域と学生・企業がともに描く

少子高齢化や空き家増加、農業・漁業の担い手不足などの課題を抱える南あわじ市湊地区において、10年先を見据えた持続可能な地域づくりを進める事業です。「湊地区活性化構想」により地区を「賑わいの拠点エリア」「ミナト暮らし実践エリア」「海・里を感じるエリア」の3つに分け、それぞれの活性化方策を整理しています。また、海の世界調査や環境学習、仮設公園「シーパーク」の設置、ナイトマーケットの開催などを実施し、地域資源の価値や拠点エリアに必要な機能について検証を行っています。検証成果を踏まえ、旧西淡町役場跡周辺を中心としたランドスケープデザインの作成に取り組むとともに、地域住民や過去の参加者との意見交換を通じて新たなまちづくりの担い手を育成します。また、レンタサイクル事業や周遊マップの作成を進め、慶野松原や丸山地区など周辺エリアとの連携を強化しながら、地域内外の人の流れを生み出し、交流人口・関係人口の拡大と地域活性化を目指します。



地 域	大 学	企 業
湊地区活性化委員会 湊地域づくり協議会	兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 嶽山研究室	西淡まちづくり株式会社 株式会社アクア淡路

淡路市

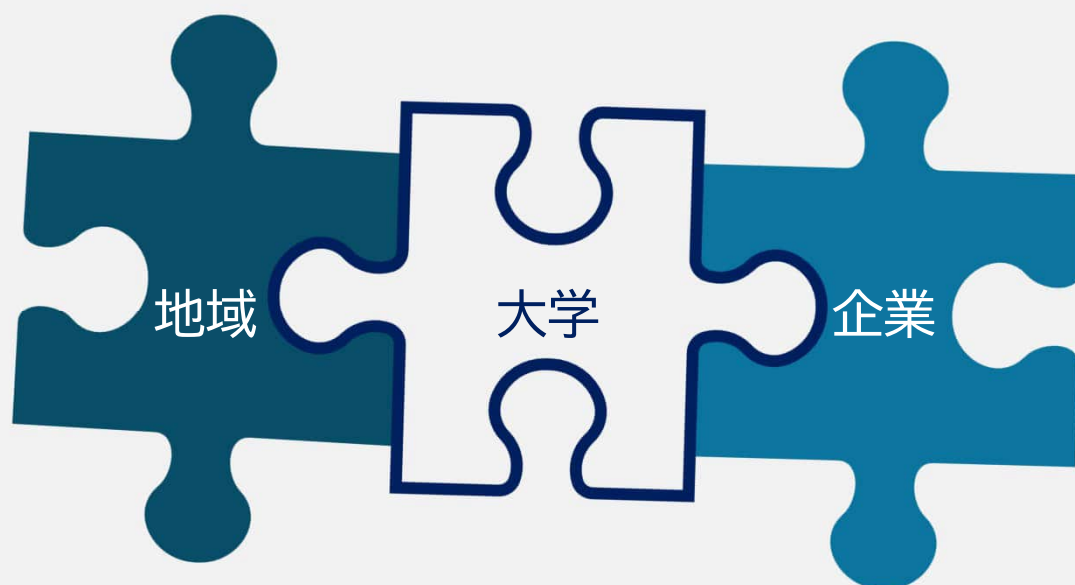
カワラケツメイ茶による地域住民の健康寿命向上と地域の特産品開発事業

淡路市の摩耶・生田・五斗長・長澤・柳沢の5地区が連携し、健康茶として知られるカワラケツメイの栽培・加工・商品化を通じて、地域住民の健康増進と新たな特産品づくりを目指す事業です。人口減少や高齢化が進む中、地域資源であるカワラケツメイを活用し、栽培からお茶づくりまでを地域住民が共同で行うことで、広域的な地域連携の強化と持続可能な地域ビジネスモデルの構築を図ります。また、吉備国際大学と連携して成分分析を実施し、カワラケツメイに含まれるフラボノイドやポリフェノールなどの機能性を科学的に検証することで、商品化に向けた付加価値の創出を目指します。さらに、大学生が栽培や加工作業に参加し、地域住民との交流を通じて関係人口の創出を図るほか、食品加工会社である沖物産株式会社の協力のもと、広報や販路開拓についても検討を進めます。カワラケツメイの栽培、成分分析、商品化に向けた販路検討を行い、次年度以降の特産品化につなげることを目標としています。



地 域	大 学	企 業
淡路島摩耶地域づくり協議会	吉備国際大学 農学部 農業資源生物学科 植物遺伝学研究室	沖物産株式会社 企画チーム

※掲載内容には実施予定の取組を含んでおり、今後変更となる場合があります。



兵庫県 地域振興課
「地域×大学×企業のひょうご絆プロジェクト」